

20 建設第 785号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

波佐見町長 一 瀬 政 太



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付、国道企第37号で提出依頼があった標記について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長崎県 波佐見町

1. 現在の道路整備は、国レベルで都市部の事故多発や交通量増箇所を優先的に進められているが、画一的な費用対効果面だけでなく、地方における身近な県道や町道にあっては、まだまだ整備すべき路線が数多くあることを認識して頂きたい。
2. 本町では、住民の身近な生活道路整備として、通学路などの緊急性を考慮し、町道の計画的な整備を進めているが、今日の厳しい財政状況により、現在はピーク時の3分の1以下ながら道路整備等の投資的経費も年々減額せざるを得ない状況にある。更に新たな企業進出により、交通量の増加が見込まれており、そのための道路整備は緊急を要するものであり、不足する財源については、起債制度の見直しなど国の柔軟な対応を願いたい。
3. 今後整備する道路の車道及び歩道の幅員構成については、地域の実情並びに住民のニーズに沿った弾力的な運用をお願いしたい。
4. 地域の高規格道路、幹線国道・県道、広域農道など個別での取組ではなく、他省との連携をとり、一体的な道路整備を県単位でのモデルとしてぜひ実施してもらいたい。
5. 道路特定財源の一般財源化にあたっては、地方の切実な意見を踏まえた上で、結論を得るとともに、財源配分のあり方についても各自治体への影響等を十分に精査、検証し、必要な道路整備財源を安定的に確保して頂きたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

長崎県 波佐見町

○現 状

本町の道路網は、西九州自動車道と県道佐世保嬉野線及び県道川棚有田線とが広域的に連絡し、これに他の県道４路線が連結。また、各集落間を連絡するように町道がきめ細やかやネットワークを形成している。

しかしながら大半の道路は幅員が狭く、特に市街地では交通渋滞や歩行者の危険性などの問題があり、計画的な整備が必要となっている。

○課 題

今後とも自動車の円滑な走行と歩行者の安全確保を基本に、今後波佐見工業団地へのキヤノン(株)進出が大きな起爆剤となり、新たな関連企業等の進出や地域開発が予測されることから、総合的かつ計画的な道路ネットワークの形成を図る必要がある。

また、住民の価値観の多様化に対応し、安全・安心、潤いと思いやりのある道路づくりにも取り組んでいく必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

長崎県 波佐見町

今後の道路整備は、慢性的な渋滞、交通事故などの投資効果の高い箇所を優先的に進めることも必要不可欠ではあるが、地域の実情、窮状等を踏まえ、地域住民の身近な生活道路である県道・町道については、地方の活性化や自立に必要な道路であり、交通の快適性や利便性の向上を図るため、計画的に進めて行く必要がある。

併せて少子・高齢化社会に対応した子育て環境づくりや広い歩道の確保、歩道の段差解消・緩勾配の確保などバリアフリー社会の形成も必要である。

また、国民の要望が強い高速道路料金の引き下げにより既存高速ネットワークの効率的活用・機能強化や幹線道路の渋滞解消など積極的に進めて頂きたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

長崎県 波佐見町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
主要県道の整備	県道佐世保嬉野線(県道稗木場有田線 ～工業団地入口間 1.4km)	従来、都市計画道路波佐見縦貫線として都市計画の決定を受けていたが、本町工業団地へのキヤノン(株)進出に伴い、平成25年度までに全線1.4kmが急遽整備されることになった。 また、本線の整備に併せ、県道稗木場有田線の県境までの未改修区間1.6kmについても平成25年度までに整備される計画である。 整備予定の佐世保嬉野線沿線には、町営工業団地や民間の開発計画等もあり、本道路の整備は、町民の長年の悲願であり、本町の将来的な発展、活性化に大きく寄与するものと期待される。	